

各 位

小野薬品工業株式会社
広 報 室
TEL : 06-6263-5670
FAX : 06-6263-2950

自己免疫疾患領域における新規創薬標的の探索について共同研究契約を締結

小野薬品工業株式会社〔本社：大阪市〕（以下、当社）と BioFocus〔本社：英国エセックス州サフロン・ワルデン〕（以下、バイオフィーカス社）は、自己免疫疾患領域における新規創薬標的の探索について共同研究契約を締結しましたので、お知らせいたします。

今回の契約締結により、当社はバイオフィーカス社に対して、今後、研究資金を提供するとともに、研究の進捗に応じた成功報酬を支払います。

バイオフィーカス社は研究資金の提供を受けて、独自の創薬標的探索技術（サイレンスセレクト[®]）を駆使し、自己免疫疾患治療薬の創製に繋がる新しい創薬標的を当社に提供します。なお、当社は、提供された新しい創薬標的に対する作用薬を探索し、新薬候補化合物の創製を目指します。

ガラパゴス社サービス部門上級副社長、兼バイオフィーカス社社長である Chris Newton 氏は、「小野薬品とバイオフィーカス社が創薬標的探索に関して提携できたことを、大変喜ばしく思っております。今回の提携は、バイオフィーカス社が創薬標的探索分野において独自の地位を確立し、顧客である製薬企業の早期創薬パイプラインに価値のある標的を提供することを示したものと考えています。」と述べています。

小野薬品の常務取締役研究本部長である川瀬和一十氏は、「当社は、バイオフィーカス社の創薬標的探索技術を高く評価しています。今回の提携により、未だ治療満足度の低い自己免疫疾患領域において、独創的かつ画期的な医薬品の創製に繋がる新規創薬標的が見出されるものと期待しています。」と述べています。

参考：

サイレンスセレクト[®]について

サイレンスセレクト[®]とは、ヒト由来初代細胞を用いた評価方法とアデノウイルスを用いたリボ核酸（RNA）干渉技術を組み合わせた創薬標的探索技術です。RNA 干渉技術とは、RNA 断片を細胞に導入して特定の遺伝子の働きを抑える技術です。RNA 断片が細胞内に入ると、特定の遺伝子から蛋白質が合成されなくなるため、その影響を評価することで、特定の遺伝子の機能を明らかにすることができます。アデノウイルスは RNA 断片の運び役で、ヒト由来初代細胞の中に RNA 断片を入れるために用いられます。

バイオフィーカス社について

バイオフィーカス社は、ヒト由来初代細胞を用いた標的探索や、幅広い標的に対応できる化合物ライブラリ、インビトロならびに細胞を用いた評価系、構造生物学、医薬品化学、物性・動態評価などの創薬基盤技術を総合的に利用し、新薬候補化合物の創製プロセスを促進することで、パートナー企業の研究開発パイプラインの拡充を目指します。なお、バイオフィーカス社は、ガラパゴス社のサービス部門で、英国や、米国、スイスに 250 名以上の従業員を擁しています。

バイオフィーカス社の詳細な情報は同社のホームページ <http://www.biofocus.com> をご参照下さい。

以上